

地質調査所研究資料集

この資料集は、地質調査所資料室（電話（0298）54-3605）で閲覧できます。

地質調査所研究資料集 No. 153

吉井守正（1991）

岡本鉱物標本目録応急修正版 2. 全標本の部. 390 p.

内容紹介

岡本要八郎博士から地質調査所九州地域地質センターに譲渡され、同所に保管・展示されている「岡本鉱物標本」の実態調査が完了し、新しい目録が一応出来上がった。内容は、岡本標本番号順・鉱物英名順・産地順・格納場所順・GEMS登録番号順の5種のリストから構成されており、標本検索の便宜が計られている。このデータはMS-DOSテキストとして保存されており、データベースとしても利用可能である。データのソート・検索及び副ファイルの作成が、筆者自作のプログラムによって可能で、そのプログラムリストも付録に示してある。

地質調査所研究資料集 No. 154

安藤直行（1991）

国産原油標本と同位体組成を中心とする測定値のまとめ. 3 p., 22 fig., 3 tab.

内容紹介

北海道・秋田・山形・新潟及び静岡各県下の油田で採取された原油（ガス・コンデンセート、ワックスを含む）類の産出地と炭素同位体組成等の測定値をコンパイルした。同位体組成は、全体としてほぼ一様であり、北米大陸の第三紀の原油のものと近い値を示している。微視的には、同一油田内で垂直方向に δ 値で約1‰の変動があり、また秋田地域の原油と新潟地域の原油の間にも平均1‰の差が見られる。これらの変化或いは相違が、根源物質の違い（大きなものではないが）を反映するものか、石油生成過程の行われた埋積深度（層準）の差によるものか、或いは全く違った他の要因によるものか、このデータだけでは結論できない。これら試料は標本として登録されているが、永い年月ポリエチレン容器に保存されていた為に、軽質分の一部又は大部分が揮発して失なわれていることを、利用に当たって留意する必要がある。